

特集

現象学とグラウンデッドセオリーとの対話

〈対談〉西村ユミ × 山本則子

〈ディスカッション〉若手研究者、大学院生とともに

ディスカッションに参加した若手研究者が考えること

【特別記事】

看護研究のための文献レビュー—マトリックス方式の意義と実際 安部陽子

よりよいヘルスケアの実現に向けて道筋をリードする—IMHL を通じて世界へ

L. Breitner / 翻訳: 緒方泰子, 湯本淑江

看護における end-of-life care 教育システムの再構築への提言 川原礼子ほか

【連載】

混合研究法入門・5 抱井尚子

Journal Watch 海外の看護学研究から学ぶ・5

USCF で看護研究を学ぶ・5 齋藤真希

編集後記

● 70 年ぶりに、看護師の業務拡大が実現する運びとなりました。看護の歴史からみて極めて大きい、時代の新たな節目になりそうです。座談会でのさまざまなお話を聞き、力を尽くされてきた方々の思いや感慨の一端を深く実感しました。ゴールではなくあくまでスタートとして、すでに先を見据えて速度を緩めず前進しようとするエネルギーが、本特集の行間の端々に感じられます。同時にそこからは、「なぜ、大学院で学ぶのか」という意味も見いだせるのではないのでしょうか。特集で紹介した成果を端緒に、さらなる実践の成果がエビデンスとして今後蓄積されていくことと思います。診療看護師(NP)が切り拓く実践の新たな知が看護/看護学をどのように変え、発展を遂げていくのか楽しみです。また特別記事では、看護における知的財産活動を昨年に続き取り上げました。看護がこれまで積み上げ、そしてこれからも積み重ねていくであろう無数の知は、きっとまだまだ大きな可能性を秘めているはずです。(小長谷)

看護研究 第 48 巻 第 5 号(通巻 261 号) 2015 年 8 月 15 日発行(増刊号を含め年 7 回発行)

発行: 株式会社医学書院 代表者 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2015, Printed in Japan

販売部 (03) 3817-5659 社内案内 (03) 3817-5600 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>『看護研究』編集室: (03) 3817-5775 電子メールアドレス kanken@igaku-shoin.co.jp 担当/小長谷・早田

1 部定価 1,900 円+税

2015 年年間購読料(税込, 送料弊社負担, 増刊号を含む年 7 冊): 冊子版 13,025 円 冊子+電子版/個人

16,265 円 冊子+電子版/共有 18,274 円 電子版/個人 13,025 円 電子版/共有 15,034 円

〈割年間購読料〉冊子版 10,498 円 冊子+電子版/個人 13,738 円 電子版/個人 10,498 円

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

JCOPY | 出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

●編集顧問(五十音順)

小島操子

聖隷クリストファー大学・教授(学長)

中島紀恵子

新潟県立看護大学・名誉教授

中西睦子

前国際医療福祉大学・教授

前原澄子

京都橘大学看護教育研修センター・所長

南 裕子

高知県立大学・学長

●編集協力者

阿曾洋子/荒川靖子

井部俊子/蝦名美智子

太田喜久子/岡谷恵子

片田範子/金井 Pak 雅子

上泉和子/川口孝泰

河口てる子/川村佐和子

黒田裕子/高橋泰子

近田敬子/筒井真優美

水流聡子/野嶋佐由美

早川和生/舟島なをみ

村嶋幸代/森 恵美

安酸史子/山本あい子

横尾京子

看護研究バックナンバー

- Vol. 48**
No. 4
Suppl.
- 増刊号特集 | 大学院で学ぶ意味—新たな看護を創るために
- 〈博士修了の立場から〉
大学院における研究のプロセスと学び 内川洋子, 山田 覚
臨床での経験と研究, そして研究結果を実践で活用するための研究へ 菊地悦子, 酒井郁子
東日本大震災がきっかけとなった研究活動 佐藤眞理, 吉沢豊子
新たな知の創造 山内朋子, 筒井真優美
- 〈修士修了の立場から〉
リカバリー志向の共同意思決定 Shared Decision Making との出会い 青木裕見, 萱間真美
大学院で学ぶことから展開する知識の応用と研究に対する自覚—修士論文の研究の進行過程を辿りながら
新 裕紀子, 中尾久子
看護研究から問題解決の方法を学ぶ 藤原美保, 坂下玲子
“わからないこと”を考え続ける—その原点としての修士論文 細野知子, 西村ユミ
人生に面白味を与えてくれた大学院 三田村裕子, 金井 Pak 雅子
スタートライン—看護師が働きやすい環境を考え続けたい 横山麻美, 山本則子
実践に根ざした知を創る 吉行紀子, 河野あゆみ
- 〈特別記事〉
臨床を中心に考える看護研究者のあり方とは—クリティックとシステマティックレビューの重要性 植木慎悟
〔文化人類学と看護学—質的研究をめぐる〕
文化人類学からみた看護領域における質的研究の特殊性—なぜカテゴリーが好まれるのか? 磯野真穂
看護学における質的研究の独自性と課題—文化人類学者の問いが突きつけるもの 田辺けい子, 水嶋知子
- 〈原著論文〉
住民との協働を基盤とした活動の保健師の行動意図に影響する要因の構造 山谷麻由美, 中尾八重子, 竹口和江

- Vol. 48**
No. 3
May Jun
- 特集 | 医療権力論—看護界・医療界はいま
- 看護師は医療という権力装置の尖兵であるという自覚をもつべきである
—医療権力論, revisited & reflected 中木高夫
看護師の批判的思考に研究に活かすために—日本の質的看護研究における理論の活用可能性 谷津裕子
生体肝移植ドナーの語りにみる“健康体”という幻想 永田明
助産師の語りにみる“母乳育児推進”という権力装置 濱田真由美
小児気管支喘息にまつわる言説と子どもの体験 深谷基裕
“更年期”をめぐる言説に戸惑う女性たち 新田真弓
- 〈特別記事〉
【第34回日本看護科学学会学術集会／(株)医学書院共催ランチョンセミナーより】
事象が分析方法を教えてくれるとは?—現象学的研究入門 西村ユミ
- 〈研究報告〉
中高年看護師の職業的キャリア成熟度の特徴と関連する要因 近藤暁子, 小泉麻美
- 〈連載〉
混合研究法入門③ 混合研究法の手続き(その1) 抱井尚子
Journal Watch 海外の看護学研究から学ぶ③ オランダの研究から日本の看護師の専門的能力開発のあり方を考える 井尻弓子
申し送りにみる文化 佐藤可奈
UCSFで看護研究を学ぶ③ サンフランシスコでの留学生活 齋藤真希

- Vol. 48**
No. 2
Mar Apr
- 特集 | 遠隔看護とイノベーション—在宅医療の新展開
- 遠隔看護の現在と在宅医療におけるその役割 川口孝泰
遠隔看護の歴史と研究の変遷 豊増佳子
遠隔看護におけるデバイス開発と応用事例 荒木大地
遠隔看護の取り組み事例—慢性疾患患者のサポート 日向野香織, 柴山大賀, 林啓子, 川口孝泰
遠隔看護のクラウドベースでの実用化をめざして 川口孝泰, 豊増佳子, 西山直美, 内藤隆宏
訪問看護における遠隔看護への期待 林啓子
遠隔看護における情報教育の整備と看護師の役割 内藤隆宏, 浅野美礼
- 〈研究ノート〉
現象学的研究をめざす人に具体的な手掛かりを提供—『現象学的看護研究』を読んで 山本則子
- 〈研究報告〉
高齢者のいわゆる「おむつ皮膚炎」に対する治療アルゴリズムの提案
常深祐一郎, 福田亮子, 出口亜紀子, 川島眞
- 〈連載〉
混合研究法入門② 混合研究法の歴史的発展と現状 抱井尚子
Journal Watch 海外の看護学研究から学ぶ② 認知症患者を対象とする介入研究の難しさ 佐藤可奈
非薬物療法の効果を示すために 廣岡佳代
- UCSFで看護研究を学ぶ② サンフランシスコでの留学生活 齋藤真希

